



第8回次世代農業サミット

進行：高田 裕司
NPO法人日本プロ農業総合支援機構 上席コンサルタント
中小企業診断士、キャリアコンサルタント

自己紹介

高田 裕司（たかだゆうじ）
特定非営利活動法人 日本プロ農業総合支援機構（J-PAO） 上席コンサルタント

- 昭和61年4月（社）全国農協観光協会（現(株)農協観光）入会
- 本社、福岡、九州営業本部などで主に農協（JA）の旅行事業開業支援と社内経理業務に従事
- 平成18年4月より、働く人のカウンセリングとコーチングを開始
- 平成20年8月より、NPO法人日本プロ農業総合支援機構（J-PAO）に勤務
プロ農業者等に対する事業化支援、農畜産物販売支援、人材育成の各事業を担当

国家資格：中小企業診断士、キャリアコンサルタント、一般旅行業務取扱主任者

その他資格等：産業カウンセラー、事業承継士、森林セラピスト、
健康経営エキスパートアドバイザー

地理的表示保護制度活用支援窓口関東ブロックアドバイザー
日本政策金融公庫 林業経営アドバイザー試験合格者

次世代農業サミットでは、第5回（東京）、第6回（京都）、第7回（福岡）ファシリテーターの研修を担当

オリエンテーション

大会のねらい

参加した人が、元気に前を向いて農業に挑戦する気になる
仲間ができる

今日すること

登壇者は計7名、それぞれの個性あふれる発表
参加者同士でその発表で感じたことを意見交換
そして発表者との質疑応答
グループ内でみなさんがこれから取り組みたいことを意見交換

最後には、参加者全員に対して、「これから取り組みたいこと」を発表

2

オリエンテーション

参加者へのお願い

積極的に参加を（グループワークや全体での発表）
オーバーアクションをお願いします（オンラインなので）

大会運営の基本構成

2人発表→グループ討議（ブレイクアウトルーム）→2人と討議（メインルーム）
→これを3回（合計6名分）実施。途中休憩あり
佐藤さんの話＋質疑応答（メインルーム）
グループ討議：自分が取り組みたいこと（ブレイクアウトルーム）
全体の間：これから取り組みたいこと（メインルーム）

3

グループ討議に向けて

グループ討議の方法

時間は20分

グループメンバーは6名以内（毎回変更します）

* 進行役は決めても決めなくてもいい

* 農業者の方とそれ以外の方との混在になります

自由に感想を話し合い、発表者への質問を話し合う（農業者以外の方も参加）

→感想と質問は、メインルームに戻ってからチャットで入力する時間を設けます

この後に発表者と質疑応答をする時間を設けます。その際に入力された感想や質問を使います。

4

佐藤さんの話のとき

質問は、随時チャットに入れていきましょう。

5

グループ討議：自分自身が取り組みたいこと

グループ討議の方法

時間は15分

グループメンバーは6名以内（毎回変更します）

* 進行役は決めても決めなくてもいい

* 農業者の方とそれ以外の方との混在になります

テーマ 「自分自身が取り組みたいこと」

* 農業者以外の方 聞き手としての立ち位置がメイン（取引先の事例があれば共有など）

メンバーを変えて、もう一度同じテーマで話し合い

6

全体での話し合い：これから取り組みたいこと

テーマ 「これから取り組みたいこと」

ひとり1分以内で発表

各会場6カ所（北海道、岩手、宮城、静岡、京都、山口）からは1名

オンライン参加者

チャットで発表希望者を募り、各会場発表後に希望者から早いもの順で発表

7